

『草木写生春秋之巻』

狩野重賢画 明暦3 (1657) ～元禄12 (1699) 写本 4軸のうち春上<寄別10-39>



百椿図(ひやくちんず)

伝 狩野山楽筆 日本・江戸時代 17世紀 紙本着色 2巻



椿をめぐる雅な文学の世界

「百椿図」には皇族や門跡、公家や大名、歌人や俳人、儒学者、僧侶など49人もの人々が和歌や俳句、漢詩を書いています。「末之巻」の最後に着賛する丹波（現在の兵庫県）篠山藩主松平忠国とその息子が二代にわたり、賛を書いてもらったようです。